

追分高校です

45



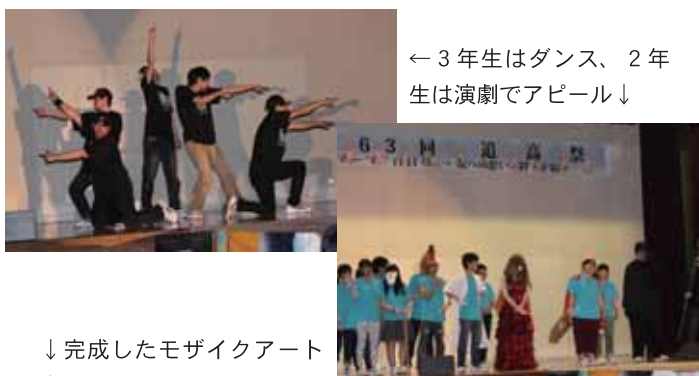
第63回追高祭終了
「絆」が深まった2日間

7月17、18日の2日間、第63回追高祭が開催された。

1日目は開祭式の後、追高祭テーマ「友への思い・絆・幸福」を花言葉に持つ百日草の全校生徒でのモザイクアート制作と、全長12メートルの垂れ幕を掲示。また、追高祭の準備期間を紹介するスライドショーコンテストや有志による特別企画が行われた。

2日目の一般公開日には、

← 3年生はダンス、2年生は演劇でアピール↓



↓ 完成したモザイクアートをバックに

お化け屋敷や射的、ペットボトルボウリングなどの参加型アトラクションをはじめ音楽部や選択授業の演奏発表、クラス代表によるカラオケ決勝、ダンスや演劇等のクラス発表や生徒会企画等、多彩なプログラムとなった。昼食は恒例の保護者手作りの「母ちゃん食堂」。うどんやカレー、親子丼に「おいしい！」を連発した。

宮原校長は閉祭式で、「企画力・計画性・一体感」というキーワードで追高生の取り



↓ 1年生もダンスでクラスをアピール



組みを評価し、保護者の協力と地域の皆様の来校に対してお礼を述べた。

また、生徒会長の高橋君は、「1年生は初めてながら素晴らしい発表。2年生は非常に個性的と後輩たちの健闘を称え、3年生のクラスメートに対しては、「このクラスで良かった。残りの高校生活悔いのないよう頑張ろう。」と

メッセージ。最後に、「みんなの協力に感謝。追高祭の取組を通して追高生の絆が深まった。成功はみんなの力、ありがとう。」と感動の気持ちを述べた。

各クラス委員長は、「クラスの一体感を感じた。」(1年生)「係のリーダーの人選が上手だった。賞を取るより、やり切ることを目標とした。」(2年生)「最高です！」3年生は総合優勝の喜びを一言に込めた。

「成功の喜びが、仲間への感謝の気持ちに変わる。」これが追分高校の学校祭である。

▶ 皆様のご意見をお寄せください ◀

北海道追分高等学校 (☎・FAX ☎ 2555)
〒059-1911 安平町追分本町7丁目8番地
ホームページをリニューアルしています。
ぜひ、ご覧ください。

【<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>】

追高＝一人ひとりが主役の学校

追分高校は、少人数だからこそ、強い絆で結ばれた仲間と出会い、誰もが主役になれる学校です。

追分高校の教職員は、生徒一人ひとりをかけがえのない存在として認め、3年間かけて、自律した18歳に育て上げます。

追高＝一人ひとりを伸ばせる学校